

【参考資料】 ⑥育児介護等への具体的な配慮を検討する際の着眼点の例

育児介護等への具体的な配慮については、以下の着眼点の例も参考にしながら、自社の実情等を踏まえて検討してください。

育児介護等への具体的な配慮を検討する際の着眼点の例	
1	フリーランスの事情を考慮して打合せの時間を調整できますか？
2	業務量を一時的に軽減する調整ができますか？
3	納期調整の相談には応じられますか？
4	長期案件の場合、業務分割や段階納品に切り替えることができますか？
5	急に業務に対応できなくなった場合の対応について、あらかじめ取り決め・話し合いをしていますか？
6	突発的な休み(当日連絡など)があった場合、急なスケジュール変更に対応できますか？
7	在宅やリモート・オンラインで就業したいとの希望がある場合に調整できますか？
8	非同期(チャット・メールなど)での連絡を基本にし、即時レスを求めない運用ができますか？
9	柔軟な作業時間(日中に限らず、状況に応じて夜間など)を許容できますか？
10	短時間稼働(例：1日数時間)や短時間中断など、作業時間が変動することを考慮できますか？
11	成果物の納入方法の変更(例：手渡し→郵送)の相談に応じられますか？
12	委託している業務をフリーランスに再委託している場合、フリーランスが申し出た配慮内容について、自社に委託している上流事業者と調整できますか？

※ 上記項目に関するもの以外であっても、自社において取り組もうとする配慮があれば、補助説明資料や申出様式に盛り込むことをご検討ください。